第4回健康ウォーク

主催　　中鴻池リージョンセンター企画運営委員会
東大阪市中保健センター

コースのあらまし

2回目に歩いた「四季彩々とおり」から宇波神社の前を経て.住居地域と工業地域の間に産業公害の防止、緩和するための緩衝緑地公園の加納地域の入口に着きます。ここから緩衝緑地の中を散策します。花のゾーンでは梅の花を愛でながら、スポーツゾーンに着きます。近鉄吉田駅の前を通り大和川付け替えに尽力された中甚兵衛の碑がある今米公園まで歩きます。その方のゆかりの川中邸を見学、敷地が大阪府緑地保全地区なっている屋敷林を散策後、近鉄吉田駅を再び通り文楽人形工房「雅舎」で文楽人形について文楽人形の工房を見学、その後本物の文楽人形を見ながら文楽についての解説を聞きます。

緩衝緑地公園（かんしょうりょくち こうえん）　　加納、川田、吉原

大気の汚染、水質の汚濁などによる産業公害を防止または緩和し、地域の生活環境の改善を図ることを目的に、居住地域と工業地域との間に設置された緑地公園です。

「施設」
・スポーツゾーン（吉原公園野球場、中部緑地庭球場）・芝生ゾーン・花のゾーン ・スポーツコミュニティーゾーン ・親水ゾーン ・近隣広場ゾーン（多目的広場・エントランス広場・遊戯広場）

川中邸（かわなかてい）　　今米1－4－38

川中家は、大和川付替工事に功績のあった中甚兵衛ゆかりの家で、昭和59年9月、大阪府下で初めて「今米緑地保全地区」として、川中邸（約5000平方メートル）が指定されました。
市街地の中の屋敷林が指定されたのは全国的に珍しいことです。ここにはムクノキ、アラカシなど約80種270高木や真竹の竹林などがあり、小動物、昆虫などが数多く生息してます。

中甚兵衛碑（なかじんべいひ）　　今米1－4

中甚兵衛を顕彰する石碑は吉田駅の北100m程の今米公園内にあり、大正4年に建てられたものです。
中甚兵衛は、河内平野を流れて度々水害をひきおこしていた大和川の流れを柏原からまっすぐ西に付替えるよう、50年近く幕府に訴え続け、付替え決定に尽力した人物です。

文楽人形工房「雅舎」（ぶんらくにんぎょうこうぼうがしゃ）　　島之内2－4－18

文楽人形の制作・修理。文楽関連の企画のプロデュース。文楽の周知を図るため小学校等へ文楽人形に関しての出前講座などされている。また文楽人形の人形師による操作の説明、文楽の代表的作品「やおやお七」「義経千本桜」の名場面の説明と実演のDVDを制作し、フランスはじめ各国で上映されている。